

夏カゼが増えてきました

症状としては・・・

- ①急な発熱(38-39℃、40℃を超えることもあります)
- ②発疹(ブツブツ)
- ③咽頭痛(ノドが痛い)
- ④嘔吐、下痢(消化器症状)

※突然熱が出てノドを痛がる、水分が摂れないという症状が出たら、「夏カゼ」を考えて下さい。ウイルス感染症がほとんどですので、抗生物質が効かないことが多いです(抗生物質は細菌に効く、ウイルスには効かない)

※熱が3日間続きますが、お子さんが元気で状態が良ければ自力で治すことも可能です。まれに、5日間以上発熱することがあります。

※まれに発熱、頭痛、嘔吐の3つの症状が出ることがあります。これは髄膜炎と言って入院を必要とする状態に至ることもあります。

※夏カゼウイルスによる髄膜炎には後遺症もなくキレイに治ることがほとんどです。

病名として有名なのは・・・

- ①咽頭結膜熱(プール熱)
- ②ヘルパンギーナ(ヘルパンギーナとも言う)
- ③手足口病

①のプール熱はアデノウイルスが原因です。このアデノウイルスによる感染症が結構やっかいです。発熱が5日間続くこともあり、入院となることがあります。アデノウイルスによるカゼと診断がついても特効薬はありません。漢方薬がうまく当たると数日以内に解熱しますが、一般的には高い熱が続きます。

お知らせ

・小児夜間急病センター

6月18日(金) 岐阜市民病院
19:30-22:30 (受付)

・こども健康セミナー

『アロマオイルについて』

6月19日(土) 13:30からクリニック外来にて

アロマテラピーのお話

現代人は様々なストレスを感じながら生きています。ストレスは実は多くの深刻な要因になり得るものですが、だからと言ってすべてのストレスを取り除いて生活することができるわけではありません。

ストレスが要因で起こる体の不調は多岐にわたるもので、ひとつだけ特効薬があるわけではありません。「なんとなくいつもと違う」「なんとなく調子が悪い」と言った日常的に起こる症状に対して、そんな時こそアロマテラピーは有効なのです。

《今月はラベンダー》

20世紀初頭フランスの科学者ルネ＝モーリス・ガトフォセが、実験中に大やけどをし、ラベンダーの精油を用いてその作用を実感しことが、現代のアロマテラピーの始まりです。

すぐれた鎮静効果とともに鎮痛や殺菌、血圧効果など幅広い用途があることからアロマテラピーで最も広く利用される精油です。

●● 緊張やストレスで、夜眠れないときなどに ●●



オイルサンプル
『ラベンダー』

